



家どりあ

～えいちけい～



理事長の挨拶

「子育ては男女共同作業!!」

研修課程開催について P2

人事について P3

特集

「楽しいこと、良いことあったよ」 P4-7

ご寄付・ご寄贈 P8



WEBサイト
随時更新中!!

「施設日記」も
ぜひご覧ください!

バーコードリーダーで読み取り
モバイルサイトにアクセス!
<http://www.helenkeller.jp/>

日本ヘレンケラー財団 検索



子育ては男女共同作業!!

理事長 西川 佳夫

今年の6月3日に育児・介護休業法改正法案が衆議院本会議で成立した。男性の前年度（2020年）の育児休業取得率は12・65%で2019年より5・17%上昇はしたが、国としては30%の取得を目指しており、まだまだ取得率が低いとされている。一昔前なら子育ては女性の仕事、男性は外で仕事をされなければいいというような風潮はもう通じない。

コロナ禍の自粛の中で、少しでも体を動かすために、家から4キロほど離れたところにある久米田池まで休みの日はウォーキングすることが私の日課となっている。久米田池（岸和田市）は久米田寺の南東にある大阪府最大の水面積を有するため池である。池の周りは遊歩道になつており、一周が2.676キロ。私にとってはいい運動場所となつている。2～3月になるとカツブリの巣作りが始まる。雌雄の共同作業で立派な浮き島（巣）が出来上がり、繁殖期は4～7月。この鳥の特徴は抱卵を雌鳥だけに任せることではなく、まさに雌雄共同作業で卵を外敵から守る。8月に入ると孵化した小さな雛が親鳥の後に続きながら水上散歩を楽しんでおり、この光景を見るにつれ、微笑ましく見入ってしまう。



各事業所においても行使しやすい職場環境の整備が急務となります。カツブリを見返してやろうではありますか。

子育てに関しては、カツブリの方が遙かに我々より進んでいるように感じる。法が改正されても、「職場に迷惑をかける」、「男が育児休暇なんて等々といった考えがまだ根強く残っているのではないか。子育ては夫婦の共同作業であり、職場にとつては人手不足が生じるといった問題もないわけではないが、「働きやすい職場」、「長続きする職場」を目指していくには、まず、当法人が先頭を切つて30%の取得達成を目指していきたい。子育ては夫婦共同作業、そのためには遠慮なく権利行使するべきです。また、

雛が親鳥の後に続きながら水上散歩を楽しんでおり、この光景を見るにつれ、微笑ましく見入ってしまう。

令和3年度 介護職員初任者研修課程の開催について <Yoshida Human resources development基金の活用>

昨年ある篤志家からのご寄付の一部を財源として、『福祉人材の発掘』の試みとしての基金を創設致しました。今回はその基金を活用して、介護職員初任者研修課程を開催する運びとなりました。この研修課程は、公益事業のため法人の職員だけではなく、他法人の職員または地域の方々も参加できる内容としております。福祉人口の裾野を広げ、福祉職員を目指す上で必要となる資格取得、現在従事されている方のスキルアップを目的として、この基金を有意義に活用し継続性を持たせ毎年開催の予定です。

福祉人材の育成に向けた介護職員初任者研修課程は、初めて介護の仕事を目指す方にとって、介護の基礎から応用までを学ぶことができる研修課程であり、介護職員として働くうえで必要な知識と技術、考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うことができるよう研修することを目的と

しています。

研修課程に係る費用を基金から助成することにより、受講料金を低価格の2万円とし、

どなたでも受講しやすい設定になっており、第1回目となる今期は19名の方が受講されます。定員を大幅に超える大変多くの受講申し込みの問い合わせをいただき、今回は受講できない方も沢山おられましたので、来年度以降も継続的に開催してまいります。受講される方にとって、スキルアップを図れる内容のある授業となっており、また福祉への興味を持っていただけるような研修課程にしていきたいと考えています。



人事について

昇進昇格

2021年4月1日付

名前	役職
湯上 誠	施設長
河野 歩	課長
加藤 嘉昭	課長
石川 裕也	課長

施設長異動

2021年4月1日付

異動先施設／役職	名前	異動前施設／役職
法人本部／事務局長代行	田島 千幸	障害者支援施設アテナ平和／施設長
障害者支援施設 IL 伯太／施設長代理	谷中 陽一	多機能型事業所ぶるうむ此花／施設長代理
障害者支援施設アテナ平和／施設長	湯上 誠	法人本部／事務局次長

職員異動

2021年4月1日付

異動先施設	名前	異動前施設
救護施設平和寮	赤井 菜穂子	特別養護老人ホームミネルヴァあべの
障害者支援施設 IL 伯太	赤嶋 里美	特別養護老人ホームミネルヴァあべの
生活介護事業所ぶるうむ此花	辰巳 真理子	障害者支援施設アテナ平和
地域生活支援センターじよいふるはかた	加藤 嘉昭	障害者支援施設 IL 伯太
多機能型事業所メロディ	中塚 圭佑	地域生活支援センターじよいふるはかた

新規採用者



福祉型障害児入所施設平和寮
かわの ねね
川野 音々 (2021年4月1日付)
4月から平和寮に就職しました。川野音々です。子どもたちの純粋な姿を見て、楽しく働いていきたいです。



特別養護老人ホームミネルヴァあべの
リュウ チン ガン
(2021年4月1日付)
はじめは高齢者ケアについて全然わかりませんでしたが、あきらめない気持ちを持ち続けて頑張ります。



福祉型障害児入所施設平和寮
やまとし かほ
山岸 果歩 (2021年4月1日付)
4月から平和寮に就職しました。山岸果歩です。明るくPOPに、元気に子どもたちに関わっていきたいです！



特別養護老人ホームミネルヴァあべの
いまにし もえか
今西 萌花 (2021年4月1日付)
入居様に寄り添い、想いを尊重しながら、しっかりと支援を行なっていきたいと思います。



障害者支援施設アテナ平和
ほう の あや か
芳野 郁佳 (2021年4月1日付)
芳野と申します。ご利用者とご家族様のニーズにできるだけ応えれるように精一杯頑張っていきたいと思います。



特別養護老人ホームミネルヴァあべの
たまがわ あい
玉川 杏衣 (2021年4月1日付)
社会人2年目、まだまだですが早く一人前の管理栄養士になれるように頑張ります！



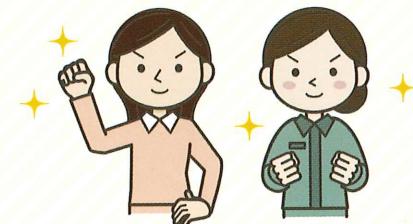
障害者支援施設アテナ平和
グエン テイ ゴック
(2021年4月1日付)
ゴックと申します。ご利用者の皆さんに楽しめ、喜んで頂けるようスタッフ一丸となり精一杯頑張っていきたいと思います。



特別養護老人ホームミネルヴァあべの
かしこぎ とき
柏木 俊輝 (2021年7月1日付)
7月から働かせていただいています。現場での経験は1年ほどですが、精一杯頑張るのでよろしくお願いします。



障害者支援施設アテナ平和
はまだ ちかこ
濱田 瞳子 (2021年4月1日付)
濱田と申します。長年、他業種で働いておりました。生活介護のお仕事は初めてなので、努力したいと思います。



特集

楽しいこと、 良いこと あったよ

1年ぶりの収知恵発行です。
世の中はまだ大変な時期ですが、施設長の皆さんへ明るい話題を探してもらうようお願いしました。では、どうぞ！



阿倍野区
夏祭り

救護施設
平和寮



『救護施設平和寮』では恒例の夏祭りを7月29日に実施しました。猛暑・感染症対策として、室内にてグループに分けて実施しました。内容は少しでも利用者のみなさんに祭りの気分を味わってもらおうと、職員が創意工夫し、楽しいゲーム・屋台を用意しました。

スマートボール・たこ焼きbingo・ワニワニパニック・スタンプラリー・おみくじ…。景品がもらえることもあり、みなさん張り切っていました。夏祭りは大いに盛り上がり、笑顔あふれる一日でした。

屋食は夏祭りの屋台風メニューで、焼きそば・たこ焼き・やきとり・フランクフルト・みそ汁・かき氷を美味しく、楽しく食堂でいただきました。最後に利用者Sさんの一言「あー楽しかった。来年もし ようね。」



今年の3月には5人の退寮生が、地域のグループホームへ移りました。

この夏、そのうちの2人が平和寮へ遊びに来てくださいました。外見は施設の窮屈なルールから脱して自由な感じになつていて、内面では照れくさそうに買っててくれたお菓子を差し入れ、下の子たちへとジュースを渡してくれました。

他の代の退寮生もよく寮を訪れ、「えーっ、〇〇さん異動したん！」「職場で正社員になったで」など、いろいろな話をしてくれます。

これは本当に職員として冥利に尽き、感動や励みになります。職員は日々のこのように贈り物を大切に、もっと子どもたちのためにつきあえることをしようと思います。



阿倍野区
里帰り

福祉型障害児入所施設
平和寮



『児童平和寮』から、毎年18歳になった子どもたちが希望に満ちて卒業していくます。寮にいる間は、学校、生活、友人、部活、進路などなど、毎日いろいろなことが起き、児童さんから思春期真っ只中の子どもたちが、それぞれの日常を過ごしています。

今年の3月には5人の退寮生が、地域のグループホームへ移りました。

この夏、そのうちの2人が平和寮へ遊びに来てくださいました。外見は施設の窮屈なルールから脱して自由な感じになつていて、内面では照れくさそうに買ってくれたお菓子を差し入れ、下の子たちへとジュースを渡してくれました。

他の代の退寮生もよく寮を訪れ、「えーっ、〇〇さん異動したん！」「職場で正社員になったで」など、いろいろな話をしてくれます。

これは本当に職員として冥利に尽き、感動や励みになります。職員は日々のこのように贈り物を大切に、もっと子どもたちのためにつきあえることをしようと思います。

阿倍野区

移動スーパーがやってきた！

特別養護老人ホーム ミネルヴァあべの



『ミネルヴァあべの』では、移動スーパーに来ていただくことになりました。

これまで職員と一緒に買い物に出かける機会を設けてはいましたが、人手の問題もあり頻繁にお連れすることができるわけではありませんでした。

やつぱり自分で見て、触って、選んで買いたいのではないか。1週間まちがえて楽しみに待つておられた方もいるほどで、そんな想いを満たしていました。たく機会が増えるのではないかと、期待しています。当日、見た目もにぎやかな軽自動車でやって来て、玄関先で店を開き。荷台が開くと、思いのほかいろいろな商品が用意されていて驚きです。利用者さんもじっくりと品定めをしながらお買い物を楽しめていました。

私たちが当たり前のようにしている買い物も、利用者さんたちにとっては生活の中の楽しみになります。普段の生活に有難さを感じるとともに、『その人らしい生活』とは何かを考えさせられました。



阿倍野区

引っ越し完了

地域生活支援センター 各駅停車



シルフ店舗



2019年1月30日にセンター仮事務所への引っ越しを行なつてから、各駅停車内の4事業所のうち『一丁目』を除く3事業所が順次改装をしており、2年4ヶ月を要しようやく完了しました。

『シルフ』の生活介護（さをり織り）の引っ越しは、仮事業所に一旦移つて改修し、再度、元に戻るということで、2度の引っ越しを行いました。就B（パノ工房）は工房を半分に分け、2度に分けて改修しました。大型の機器がたくさんあり、改修に関わった業者の皆さん之力を借りました。

最後のセンターの引っ越しは、

今年の5月30日に法人の職員総動員で行われました。多くのみなさまに助けられ感謝いたしております。

『シルフ』の店舗はとっても可愛くおしゃれになつております。

お近くに寄られた際は、是非、お立ち寄りください。

ひとりの職員の発案によりプランターを使って始めた園芸は、思い通りにいかないこともあります。但し、取り組んできたサシエづくりがようやく実を結び、先日、近隣にお住まいの方へお配りすることができます。

通常、サシエは、2～3ヶ月、長ければ半年も匂いが持続するそうですが、『メロディ・リズム』ものはどうでしょうか。今から楽しみでなりません。

葉を乾燥させ、そこから選別するので、お配りできる数に限りがありますが、自信作を利用者さんの素敵なお笑顔とともにお届けしたいと思思いますので、ご期待ください。



阿倍野区

サシェで地域とつながり

生活介護等事業所 メロディ・リズム



阿倍野区

食べることが生きがいです！

障害者支援施設 アテナ平和



『アテナ平和の就労支援ブリッジ』です。『ブリッジ』では、就労のお仕事としてお弁当販売をしています。特にこだわっている点は手作り、季節のメニューです。今回まず紹介するのは、ワインナーとアスパラのフライ、七夕そ

うめんです。どちらも利用者が手作りで仕込みをしてくれています。利用者さんは仕事としてのプライドをもって日々お弁当作りに取り組んでくれており、とても美味しそうな仕上がりになっています。

もう一つは行事で調理を行いました。今回は柏餅づくり。これに関しては、厨房の利用者さんだけでなく、普段はリネンサプライ作業に携わってくれている利用者さんも参加され、みんなで調理にチャレンジしました。

利用者さんも職員も食べる事が大好きなメンバーばかりです。これからも利用者さんと一緒に、お客様に喜ばれるお弁当を作れるように頑張っていきますね！



此花区

私たちもオリ・パラリンピックに：夢みている！

生活介護事業所 ぶるうむ此花



七夕で短冊にお願いを書きました。皆のお願いは？皆が幸せになりますように：中には「ラーメンを毎日食べたい」「お金持ちになりたい」「遠足に行きたい」がありました。

した。

利用者さん一人

一人、いろいろな願い事を巡らせ、ご家族の皆さんと日々楽しんでおられます。



隣接する広場でウォーキングを3周。「7周やで」「俺は走ったで」と利用者さん同士、職員と話がはずむ（暑くて外には出たくないと思見学者も…）。

猛暑…汗を少しか

き室内へ。「そうや、

スイカ割でもしよう

や」「そしたら活動で作るうや」。当然クーラーの効いてる中でのスイカ割。各部屋で半球のスイカ、ふたつ合せて「ほら、出来た」。中身も真っ赤でみずみずしく、種まである本格的なスイカ。「叩く棒は？」新聞紙を丸めて…マットを敷いて、順番に切り分けたスイカをみんなで頬張りました（本当はいつもおやつを頂きました）。

七夕で短冊にお願いを書きました。皆のお願いは？皆が幸せになりますように：中には「ラーメンを

あ……、今日は疲れた！」、活動に熱中された、ある利用者さんのミュージックケア後の感想です。会場に笑い声が溢れました！数年前から、太平にてミュージックケアの活動を取り入れたいと準備を続け、7月13日に初回を迎えることが出来ました！

音楽に対

する感じ方は

人それぞれ

で、また表現

方法も様々。

ご利用者の皆

さんにはこの

活動を自由に

感じ表現してもらい、楽しんでいただきましょう！

との講師の浦川先生の言葉に甘え、参加した職員も

自由に楽しませていただきました。驚いたのは利用

者さんの集中力です。1時間の活動中、会場から出

ていく方はほとんどおらず、浦川先生の身振りや

手振り、言葉かけに集中し、それぞれの表現方法で

活動をとても楽しめっていました。「弾ける笑顔

とは、このような表情のことを言うのではないで

しょうか。



和泉市

ミュージック・ケア、遂にスタート！！

障害者支援施設 太平



今後も継続して実施していく中で、また利用者さんの新たな一面に出会えることを楽しみにしています。

和泉市

ひまわりのよう

障害者支援施設
一レ伯太



「うわーっ、でっかいひまわり！」『一レ伯太』の小さな畑の横に、とんでもなく背の高いひまわりが咲いています。昨年の種が落ちたものなのか、昨年も人の顔より大きな花が咲いて、背も高いものができました。園内を歩行するとき、ちらつと見えるのですが、側に行くとその大きさに驚かされます。

さて、『一レ伯太』のニュースといえば、4月と6月にかねてよりグループホームに行きたいと希望されていた方2人が、夢をかなえて移行されました。直前には、「○○がしたい」と、目を輝かせて話しておられました。大きなひまわりのように、夢を大きくかなえてほしいと願っています。

5月末には、じゃがいも掘りを楽しみました。茎を引っ張って大きなじゃがいもが出てくる様子に、皆嬉しそう。そのまま食材として厨房に直行。皆のお口においしく入っていきました。これからは、ビッグひまわりのよう、暑さに負けず夏を乗り越えたいと思

います。

日中の活動事業所である『フルールいすみ』は傾斜地に建設されており、各フロアの段差や耐震面に不安があつたため、同センター内のグループホームとヘルパーステーションの事務所機能も一緒に、2020年10月に和泉市池上町へ移転しました。

クリーニング作業に取り組んでいた階就労フロアでは、大型乾燥機を増設し、汚れ物と新しい洗濯物が交差することのないよう動線を分け、集配から出荷までの流れを、段取り良く衛生的に取り組めるようになりました。機材室には大型の空調ダクトが5本設置されており、以前は汗を流しながら洗濯物の出し入れを行なっていましたが、「ここは涼しくて、良いな！」と、夏場でも快適に作業されています。

余暇活動を中心とした生活介護の2階フロアでは、利用者さんの高齢化による怪我リスク軽減のバリアフリーはもちろん、カームダウンエリア（和室）や、刺激を軽減するための個別エリヤを準備し、「静かで落ち着くわ！」と、大変好評です。また、活動内容や人数に応じてパーテーションを開閉するなど、各障がい特性や個性を尊重したサービス提供を可能とする造りになっています。

建物内が笑顔溢れる居心地の良い空間となるよう、従業員は利用者さんの想いに寄り添い、温かく丁寧な支援を心がけていきます。

和泉市

移転しました！

地域生活支援センター じょいふるはかた



職、入職などで職員の入れ替わりがありました。寂しいだけでなく新しい発見もありました。新たな職員が加わったことで、今までの職員になかった発想もあり、「つまみ細工」という商品ができました。これは、ホームページの施設紹介でも伝えていました

が、完成したものは部品を繋げ「マスクチャーム」「磁石」「ヘアゴム」などにアレンジしています。マスクをする日常の中、オリジナルの小物やアクセントを付ける事で、顔回りも華やかになりました。インターネットでの販売などはしていませんが、興味ある方は是非『さつき園』にお問い合わせください。



年度初めより異動や退職、入職などで職員の入れ替わりがありました。寂しいだけでなく新しい発見もありました。新たな職員が加わったことで、今までの職員になかった発想もあり、「つまみ細工」という商品ができました。これは、ホームページの施設紹介でも伝えていました

阪南市

自主製品が生まれました

多機能型事業所 さつき園



人と人が関わる事で、気付かなかつたもの、新たな考え方や発想を知ることが出来ます。互いを認め合い、高めていけばより良い支援にも繋がるのではないかと思います。

ご寄付・ご寄贈感謝申しあげます

2020年3月～2021年6月末までに各施設にいただいたご寄付・ご寄贈です。

救護施設 平和寮

KUDARA 様
オリムピア製菓株式会社 様
日本レコード協会 様
岡本清一 様
雑巾を縫う会 様

梨
チョコレート
CD
5,000円
雑巾

反物
みかん
みかん

福祉型障害児入所施設 平和寮

ホワイティ梅田 様
大阪府共同募金会 様
崎山牧子 様
松山茂 様
国際ソロップチミスト大阪 様
ドミニビザ昭和町店 様
子どもアドボカシーOSAKA 様
JJCウエスト株式会社 様
グローバル医療福祉グループ株式会社 様
岡山義尚 様
近畿アイスクリーム協会 様
大阪府玩具・人形問屋協同組合連合会 様
照井真由 様
合同会社ユー・エス・ジェイ 様
川崎伸一 様
日本誠和テクノ株式会社 様
大阪莫業青年クラブ 様
オリムピア製菓株式会社 様
森本茉子 様
大阪キリスト教短期大学 様
日本出版販売株式会社 様
学校図書館による本いっぽい運動推進連盟
日本児童図書出版協会 様
倉敷紡績株式会社 様
41会スマイルチルドレン 大阪社会福祉NPO団体 様
堂島アバンザ管理株式会社 様
岡本株式会社 様
株式会社 かんそく 様
平石理恵 様
大阪市児童福祉施設連盟 様
矢野大介 様

78,364円
141,000円
筆記用具等
消毒液
150,000円
ピザ
マスク
マスク
除菌水
おもちゃ等
アイスクリーム
おもちゃ
おもちゃ
おもちゃ
USJキャラクターグッズ
ブルーレイレコーダー等
マスク
菓子
チョコレート詰合せ
2,000,000円
10,000円
本
タオルハンカチ
100,000円
カレンダー
衣類等
色鉛筆
衣類
440,000円
5,000円

鞄
バザー用品等
バザー用品等
きんかん
きんかん
布巾
布巾
リハビリパンツ
タオル等
タオル等
除菌用品等
バザー用品等
菓子
マスク 1 箱
DVDデッキ
野菜
アイスコーヒー
菓子
バザー品
りんご
サンポール 3 本
スリングシート
菓子
キンカん
菓子
10,000円
バザー用品等
タオル

太平

大城由子 様
中村公子 様
赤松満洋 様
緒方富子 様
横山澄 様
脇本悦子 様
伯太婦人会 谷口純子 様
井口勝子 様
白鯛政夫 様
岡本株式会社 様
毎日牛乳 様

50,000円
50,000円
114,000円
90,000円
100,000円
50,000円
10,000円
50,000円
20,000円
靴下
牛乳

玩具
飲料
飲料
飲料
除菌水

ぶるうむ此花

家族様より
此花区社協 様
イオン高見店 様
自立支援センター舞洲 様
ホシデン精工 様
梅香連合振興町会 様

感染予防品等 30,000円
布マスク
商品券
菓子
フェイスシールド
消毒液

家財道具
マスク
100,000円
100,000円
飲料
30,000円
マスク

IL伯太

伯太町婦人会 様
匿名

10,000円
1,000,000円

菓子類等
衛生用品
飲料
雑貨類等
マスク等

各駅停車

株式会社 武市 様
松木武男 様
杉田光明 様

反物
みかん
みかん

さつき園

坂口美代子 様
松本久容 様
中村千草 様
神野 様
耕野 様
奥田 様
木村 様
加藤 様
雅樂 様
森本 様
泉井 様
西川 様
辻 様
岩下 様
上田恵子 様
花田敏明 様
北長 様
阿形 様
桂原 様
山口 様
林 様
玉田山莊 様
濱雅登 様
都々木康宏 様
松下純治 様
中村修 様
仲西 様
西嶋 様

鞄
バザー用品等
バザー用品等
きんかん
きんかん
布巾
布巾
リハビリパンツ
タオル等
タオル等
除菌用品等
バザー用品等
菓子
マスク 1 箱
DVDデッキ
野菜
アイスコーヒー
菓子
バザー品
りんご
サンポール 3 本
スリングシート
菓子
キンカん
菓子
10,000円
バザー用品等
タオル

アテナ平和

平川 様
駅前薬局 様
ジャパンメディカルフード 様
イズムコーポレーション 様
OSGコーポレーション 様

玩具
飲料
飲料
飲料
除菌水

ミネルヴァあべの

村中静 様
川口洋 様
川東和柄 様
川東和彦 様
ハヤシ精肉店 様
阿見陽子 様
梶本裕子 様

家財道具
マスク
100,000円
100,000円
飲料
30,000円
マスク

メロディ・リズム

河野 様
横山 様
株式会社 ジョイント 様
地域の皆様
戸田 様

菓子類等
衛生用品
飲料
雑貨類等
マスク等

じょいふるはかた

北坂歯科 様
山田石油 様
大倭殖産 株式会社 様
株式会社 トム・リ・サーチ 様
株式会社 クリーンプラン 様

100,000円
時計
時計
パース
フラワーギフト

今号はコロナウイルスの感染拡大により、編集委員が集まって会議することが困難であったため、少人数でリモート会議をしながら校正しました。

利用者さんの生活は一変してしまいましたが、特集ではあえてコロナウイルスには触れない、穏やかな日常をお届けさせていただきました。コロナの終息を願い、より一層各施設の活動や生活において工夫を重ね、利用者さんの笑顔を守り続けていきたいと思います。

編集担当者 宮前 克彦 五百蔵 敏之

収知恵 第65号

発行日 2021年10月1日

発行者 社会福祉法人 日本ヘレンケラー財団
理事長 西川 佳夫

事務局 〒545-0011
大阪市阿倍野区昭和町3丁目4番27号